

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌東高等学校長 須藤 克志

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- (1) 多様な学力層に対応した自主的・主体的に学習する育成と意欲を高める学習指導の充実に努める。  
 (2) 自他を尊重し、多様性を認め、協調性を高める生徒指導の充実に努める。  
 (3) 実社会の課題解決に繋がる探究的な学習やキャリア教育の充実に努める。  
 (4) 心の健康に対する理解を深め、命を守るためのメンタルヘルスケアの推進に努める。  
 (5) 生徒や保護者、地域からの期待に応える魅力ある教育活動の持続と業務改善に努める。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自学習を意図した基礎学習を中心とした授業展開をより個別最適な学びを推進した授業改善と対話的学びの推進が必要。</li> <li>・ 授業におけるICT活用した取組、教員間の共有や効果的な活用が必要。</li> <li>・ 学習の質を維持しながら、生徒の学習能力に配慮し、個に応じた学習展開と取組について改善が必要。</li> </ul>	<p>○取組は概ね良好である。ICTの活用は、学習以外にも有用性が高いと感じることから、生徒への気配りが必要であり、個に応じた学習展開と取組（個別最適な教育運営）を期待する。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業における各教科の評価資料、生徒自己評価を活用し、情報共有や学習改善の推進。</li> <li>・ ICT活用した校内・外研修や課題解決、特別支援を意識した学習サポートの推進。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーショントレーニングの実施。他者を尊重し、挨拶や正しい言葉遣いなどを意識させた指導や声かけが必要。</li> <li>・ 学校行事や外部講師の講演による自己肯定感の向上。取組への関心や言葉の理解がより必要。</li> <li>・ 集会時の指導、定期的な生徒面談の実施。未然防止に向けた全体への呼びかけの継続、生徒面談や家庭との連携が必要。</li> </ul>	<p>○取組は概ね良好である。多様な生徒が通っていることから個々の適性に合った指導が一層不可欠であるため、より生徒の個性が生かされた学校生活を送れるような取組を期待する。コミュニケーショントレーニングで生徒が成長する姿は保護者への強いアピールになる。また、生徒同士のコミュニケーション促進につながる実践的な取組を期待する。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーション力の育成や集団生活における自他尊重の意識向上とモラル指導。</li> <li>・ 生徒面談による状況把握と状況に応じて、保護者等、関係機関等と連携。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験学習や講話、進路目標に沿った指導。生徒の興味関心につながる講話や体験学習の実施により、活動の充実と自己理解を図ることが必要。</li> <li>・ 外部機関との連携、個に応じた指導や情報共有により、進路実現につながった。学年毎に外部講師の活用や校外活動の精選など効果的な進路活動の検討が必要。</li> <li>・ 3者面談等による情報提供の実施。生徒の進路実現に向けた保護者への説明と連携が必要。</li> </ul>	<p>○取組は概ね良好である。校内から社会生活を学んだ生徒が新しい社会への希望を見出せるような経験づくりや進路目標を明確にするために、好きを見つけて仕掛けがもつとあると、良い。多種多様な進路希望に対し、生徒一人ひとりが自信と希望を持って将来について考えられるような指導や生徒本人と保護者両方に寄り添った指導を期待する。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路シラバスにより、段階的な進路活動の実施し、進路目標への早期設定への指導。</li> <li>・ 外部との連携による情報収集と自己に必要なスキルや経験の獲得に向けた指導。</li> </ul>	
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健室での個別相談、命の保健講話などメンタルヘルスケアを推進。心と身体をチェックリストを活用し、面談の継続が必要。</li> <li>・ 健康面談の実施により、生活習慣や自己健康管理のアドバイスを実施。生活習慣の定着や自己の健康管理の推進への継続が必要。</li> <li>・ 専門機関と連携した安全・防災教育、学習を実施。安全・防災教育の充実への専門機関と連携した学習の推進が必要。</li> </ul>	<p>○取組は概ね良好である。これまででもメンタルヘルスケアの推進に努めていただいているが、今後も更なる充実と継続、保護者とも連携した健康安全指導を期待する。心身の健康は、かなり充実した対応ではある。高校生活を送るうえで、生活の乱れが心身の乱れにつながるといわれているため、生活習慣や健康管理への意識を一層高める指導を期待する。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心と身体をチェックリストや健康面談における生徒の抱える課題把握、対応への推進。</li> <li>・ 学校外の相談機関の活用を促し、専門機関との連携を図り、自らを守る行動の育成。</li> </ul>	
公表方法	○学校ホームページ	